

CASBEE_Sapporo2014v1.2 (仮称)ふたみ青果 札幌工場 新築工事		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
実施設計段階		A	B	C	D	環境配慮設計の概要記入欄				評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 建築物の環境品質														3.0
Q1 室内環境											0.32			3.1
1 音環境										3.0	0.15			3.0
1.1 騒音										3.0	0.40			
1.2 遮音										3.0	0.40			
1 開口部遮音性能										3.0	0.60	3.0		
2 界壁遮音性能										3.0	0.40	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										3.0		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										3.0		3.0		
1.3 吸音										3.0	0.20	3.0		
2 温熱環境										3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御										3.0	0.50			
1 室温										3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能		A								3.0	0.25	5.0		
3 ゾーン別制御性										3.0	0.38			
2.2 湿度制御										3.0	0.20	3.0		
2.3 空調方式										3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境										2.7	0.25			2.7
3.1 屋光利用										4.2	0.30			
1 屋光率						3.5				5.0	0.60	3.0		
2 方位別開口												3.0		
3 屋光利用設備		A								3.0	0.40	3.0		
3.2 グレア対策										1.0	0.30			
1 屋光制御		A								1.0	1.00	3.0		
2 眩り込み対策														
3.3 照度										3.0	0.15	5.0		
3.4 照明制御										3.0	0.25	5.0		
4 空気質環境										3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策										5.0	0.50			
1 化学汚染物質						床・壁・天井全てに規制対象外又は、F☆☆☆☆の材料を使用している。				5.0	1.00	5.0		
2 アスベスト対策														
4.2 換気										2.3	0.30			
1 換気量										3.0	0.33	5.0		
2 自然換気性能										3.0	0.33	5.0		
3 取り入れ外気への配慮										1.0	0.33	5.0		
4.3 運用管理										3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						各階に喫煙室を設けている				1.0	0.50			
2 喫煙の制御										5.0	0.50			
Q2 サービス性能											0.30			3.1
1 機能性										2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ										2.3	0.40			
1 広さ・収納性										1.0	0.33	3.0		
2 高度情報通信設備対応										3.0	0.33	5.0		
3 バリアフリー計画										3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性										2.3	0.30			
1 広さ感・景観										3.0	0.33	5.0		
2 リフレッシュスペース										3.0	0.33			
3 内装計画										1.0	0.33			
1.3 維持管理										3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						管理のしやすい設計とした。				4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保										3.0	0.50			
3 衛生管理業務														
2 耐用性・信頼性										2.8	0.30			2.8
2.1 耐震・免震										3.0	0.50			
1 耐震性										3.0	0.80			
2 免震・制振性能										3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数										3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数										3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔										3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔										3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔										3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						空調関係にSGP管、給排水関係に硬質塩ビ管を中心に使用した。				4.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔										3.0	0.20			
2.4 信頼性										2.0	0.20			
1 空調・換気設備										1.0	0.20			
2 給排水・衛生設備										3.0	0.20			
3 電気設備										1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法										3.0	0.20			
5 通信・情報設備										2.0	0.20			
3 対応性・更新性										4.2	0.30			4.2
3.1 空間のゆとり										5.0	0.30			
1 階高のゆとり						4.6m				5.0	0.60	5.0		
2 空間の形状・自由さ										5.0	0.40	5.0		
3.2 荷重のゆとり										5.0	0.30	5.0		
3.3 設備の更新性										3.0	0.40			
1 空調配管の更新性										3.0	0.20			
2 給排水管の更新性										3.0	0.20			
3 電気配線の更新性										3.0	0.10			
4 通信配線の更新性										3.0	0.10			
5 設備機器の更新性										3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保										3.0	0.20			

CASBEE_Sapporo2014v1.2 (仮称)ふたみ青果 札幌工場 新築工事		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
スコアシート		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
実施設計段階		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
配座項目		重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄					
		A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体			
						評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q3 室外環境(敷地内)							0.38	-	-	2.8	
1 生物環境の保全と創出				C		2.0	0.30	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮				C		4.0	0.40	-	-	4.0	
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					D	2.0	0.50	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B		C		2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							-	-	-	3.1	
LR1 エネルギー							0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制		A				4.0	0.03	-	-	4.0	
2 自然エネルギー利用		A				4.0	0.12	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化						4.0	0.61	-	-	4.0	
集合住宅以外の評価(3a.3b)		A				4.0	1.00	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)		A				4.0	-	-	-	-	
4 効率的運用						2.0	0.24	-	-	2.0	
集合住宅以外の評価						2.0	1.00	-	-	-	
4.1 モニタリング		A				3.0	0.50	-	-	-	
4.2 運用管理体制		A				1.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング		A				5.0	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		A				5.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル							0.30	-	-	2.5	
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4	
1.1 節水						4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.4	0.60	-	-	2.4	
2.1 材料使用量の削減			B			2.0	0.10	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			B			3.0	0.20	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			B			3.0	0.20	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			B			1.0	0.20	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			B			2.0	0.10	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			B			3.0	0.20	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3	
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	-	
1 消火剤			B			2.0	0.33	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			B			2.0	0.33	-	-	-	
3 冷媒			B			2.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境							0.30	-	-	3.1	
1 地球温暖化への配慮			B			3.3	0.33	-	-	3.3	
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1	
2.1 大気汚染防止			B			5.0	0.25	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			B	C	D	2.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減			B			4.0	0.25	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-	
3 交通負荷抑制						5.0	0.25	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			B		D	2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.0	0.33	-	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制						3.0	0.20	-	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.70	-	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-	